

白雲の池

白雲の池という名前は、晴れた日に空が池に移る様子に由来すると言われている。元々は宗教儀式の行われる場所であったことが、近くにある手水鉢とヒノキの御神木から察せられる。自然の池に見えるが、実際は人工で 400 年ほど前に灌漑のための水を貯めるために作られた。現在、白雲の池はテントサイト、トイレ、調理場、レクリエーションオープンスペース、貸ボートに囲まれる完全装備のキャンプ場だ。

白雲の池に住んでいる鯉 (*Cyprinus carpio*) は守るため、水泳や池に入ることは禁じられている。森の中では、胸部分の明るい黄で見分けられるキビタキ (*Ficedula narcissina*) や、さえずりというよりも羽根音のような鳴き声を出すコゲラ (*Yungipicus kizuki*) などの野鳥を見ることができる。池岸沿いに木の実を付ける木々が数多く見られ、夏は花を咲かせ、秋には明るい実をつけ、周りに生息する鳥や動物を引き寄せる。

絹笠山(870 m)の近くまでの道は雲仙でもとりわけやさしく、登りきると雲仙温泉、雲仙山岳地域、橋湾の壮大な光景に報われる。